

国立大学法人島根大学経営協議会（第149回）〈議事要録〉

日 時 令和7年12月19日（金）14:05～15:10
場 所 松江キャンパス本部棟5階 大会議室（対面及びオンライン）
出席者 大谷学長，増永理事，松崎理事，金山理事，椎名理事，大川理事，上野理事
上定委員，大西委員，久保田委員，三輪委員，室崎委員，山口委員，吉山委員，渡辺委員
欠席者 高塩委員，宮脇理事
オブザーバー 吉田監事，栗原監事

議決事項1 第4期中期目標・中期計画の変更について

報告事項1 令和8年度医学部入学定員増員計画について

- 増永理事から資料に基づき令和8年度医学部入学定員増員計画について報告があった後，第4期中期目標・中期計画の変更について説明があった。議決事項1については審議の結果，原案通り議決された。

議決事項2 管理学則の一部改正について

- 学長から資料に基づき日印グローバル教育・研究センターの概要説明があった後，増永理事から管理学則の一部改正について説明があった。
- 学外委員から，産学官連携によるインドとの交流は，中海・宍道湖・大山圏域の強みでもあり，新センター設置を契機として，島根大学が今後も積極的に連携の深化に取り組むことを期待する旨の発言があった。
- 審議の結果，原案通り議決された。

議決事項3 教職調整額引上げに伴う職員給与規程の一部改正について

- 増永理事から資料に基づき，教職調整額引上げに伴う職員給与規程の一部改正について説明があった。
- 学外委員から，大学全体の給与引上げに伴う財源確保について，機会あるごとに国に対して予算措置を要望し続けることが重要であるとの意見があった。
- 審議の結果，原案通り議決された。

報告事項2 附属病院運営状況について

- 椎名理事から資料に基づき，附属病院運営状況について報告があった。

報告事項3 理事の担当業務における本学の強みと課題について

- 増永理事から資料に基づき，理事の担当業務における本学の強みと課題について報告があった。
- 学外委員から，教員の特性を考慮した業務比重の調整及びその評価方法について質問があり，増永理事から，教員が教育・研究・全学的業務など各業務に充てる時間（エフォート）を基準とし，特に全学的な教育，学生支援，組織運営等，従来の評価体系では十分に反映されにくかった業務について，エフォート配分を調整することで適切に評価できる仕組みを検討しているとの説明があった。
- 学外委員から，教員の業務比重に関する記述について，研究支援に触れている一方で研究そのものへの言及がないが，研究の位置付けをどのように整理しているのかとの質問があり，増永理事から，研究についてはリサーチプロフェッサー制度等で別途対応しているとの回答があった。続けて同学外委員から，教

育とは別に教員への教育支援という領域が存在するため、その役割を業務比重の整理に含めるべきではないかとの意見があり、増永理事から、教育支援の重要性は認識しており、役割を整理したうえで評価制度に反映できるよう検討していきたいとの発言があった。

- 学外委員から、人的リソース確保に向けた業務削減・効率化の具体的な方策について質問があり、増永理事から、現在は事務部門を中心に業務の見直しを進めており、外部の知見も活用しながら実効性の高い方法を模索しているとの回答があった。
- 学外委員から、人材確保が困難な中で、採用手法の工夫や他制度の活用、さらに日頃から人材情報を把握し長期的視点でマッチングを図る必要があるとの意見があり、増永理事から、新卒に加え中途採用枠を拡大し、PR 動画作成など広報の工夫や、任期付職員等の一般職員への転換試験等の実施によって人材確保の機会を広げており、引き続き強化していくとの発言があった。
- 学外委員から、会議体運営や書類業務など効率化の余地がある業務について見直しを進め、ドラスティブな改革に取り組む姿勢を示すことで、地方国立大学としての魅力向上にも繋がるのではないかとの意見があった。